

未知の世界に自分の価値がある

福祉タクシー心

代 表 者 李 圭万

住 所 松本市惣社 271-4

連 絡 先 070-1450-1113

業 種 サービス業(福祉タクシー)

E-mail

fukushitaxi.kokoro@gmail.com



創業の経緯



長年金融業界一筋で従事してきたが、第2の人生をまだ見ぬ未知の世界で自分を試してみたいとこれまでとは全く違う福祉の業界に飛び込んだ。福祉施設で介護の職に従事する中で、利用者に付き添い福祉タクシーに乗る機会が多くあった。その中で福祉タクシーを必要としている人が沢山いることが分かった。人間誰しも生老病死を避けることが

できない中で、自分もいつかは人の世話になる、しかし、まだ体が動く今の内は自分が人を支える立場にあると決心し、福祉タクシーを自ら創業することを思い描いていった。

創業支援を受けて

創業するにあたり構想は出来ていたものの、自分の頭で考えているだけでは、それをどうやって具現化していけばいいのか分からなかった。そんな時、松本商工会議所に相談があったので、丁寧に事業構想をヒアリングした上で、創業の手順、これからやらなければいけないことなどについて一つ一つアドバイスをを行った。李さんは、「創業で一番大変だったのは経営指導員の方と会う前だった。どうすれば構想を形に出来るか頭の中がもやもやしていたが、相談してアドバイスを受けたことにより頭の中が晴れて整理され道筋がはっきりと見えた。あの時相談していなかったら入口を間違え、途中でやめたり、失敗していたと思う。感謝してもしきれない。」と語ってくれた。その後は構想の実現に向けて一緒に創業計画書を何度もブラッシュアップした上で、金融機関の厳しい融資審査を通ることができ、創業融資を受けるこ



とが出来た。李さんは、「事業を行う上で資金面が大本の土台になる。しかし、資金問題は自分の力だけでは解決できない。資金繰りにおいて段取りを踏んでしっかりとサポートしてくれたので、その後は計画通りに邁進することが出来た。」と振り返った。福祉タクシーの複雑な許認可申請や運転免許取得にも苦労した。しかし、試練はもっと前から始まっていた。日本語を学ぶために留学で来日した時から、これまで多くのことを乗り越えてきた。色々な状況の中で耐えて鍛えられ、生きる術を身に付けた。あの時乗り越えたという気持ちは、一生自分の背中を押して原動力になってくれるものであり裏切らない。今回も最後まで乗り越えられる強い自信があった。許認可手続き等で時間がかかったが、全ての準備を計画通りに遂行し無事に創業することが出来た。

今後の展望



「人を助けることは人として当たり前のこと。」と李さんは言う。福祉タクシーを利用しなければ生活が成り立たない人もいる。人の道を支える事業であるため、李さんは良心的な価格設定を心掛けている。李さんは今後の展望として、気持ちを入れ替えたり、高望みはしないと言う。今やっている仕事は、人の命を預かる仕事であるため、何のトラブルもなく、無事故・安全で何気ない毎日をキープすることが日々の幸せであると教えてくれた。李さんの丁寧で穏やかな性格と困っている人を放っておけない誠実な人柄が、乗せる沢山の人の人生を豊かにしていくものと確信する。

(経営指導員：深澤貴光)